

## 2019年度(令和元年度)事業報告書

2019年1月1日から2019年10月31日(NPO法人)

2019年11月1日から2019年12月31日(公益社団法人)

スペシャルオリンピックス日本・福岡

### 1 事業の成果

#### ① 知的障がい者のスポーツ活動の充実

年間を通じ 16 競技のスポーツトレーニングプログラムを県内各所で実施し、地域における知的障がい者のスポーツ参加の促進を図るとともに、「第4回冬季地区大会」を3月～6月に開催したことを始め、7月「SON・鹿児島地区大会 バドミントン」、10月「SON・熊本地区大会 テニス、馬術、サッカー、卓球」、11月「九州・沖縄ブロック大会長崎 競泳、陸上、テニス」にそれぞれ選手団を派遣した。また、地区では「ボウリング競技会」を開催、他地区を招待し質の高い競技会を提供し、知的障がいのある人たちのスポーツ技術向上や社会参加を促進した。

#### ② 知的障がい者スポーツ振興のための人材育成

様々な競技のコーチクリニックを実施し、ボランティアコーチの確保及び研修を行うことで、知的障がい者のスポーツ振興を支えるための人材育成を図った。

#### ③ 知的障がい者への理解を深めるための広報・啓発事業

恒例の「博多どんたく港まつり」パレードでは総勢 200 名のトーチウォークを実施し広く市民に SON・福岡をアピールするとともに、7月にユニス・ケネディ・シュライバー（EKS）デーの意義を留め、ユニファイドボウリング大会を企画し、アスリートと健常者合わせ100名を超える参加者が楽しく交流の輪を広げた。また、10月の「第21回チャリティゴルフ大会」では、プレイ終了後のセレモニーにアスリートが登壇し感謝の意を表すなど、直接触れ合う機会を設けることで理解と支援の拡大を見た。

#### ④ 他団体との連携による新たな取組み

福岡県の助成のもと、県立ももち文化センター及びアートマネジメントセンター福岡と共に取り組んだ「演劇&ダンスワークショップ」の集大成として1月に発表会、3月に他団体の舞台公演に参加するなど、文化活動によるコミュニケーションとリーダーシップの可能性が評価され、次のステップとして10月～12月のワークショップへと繋がっている。

また、JAIFA(生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会)主催の講演会において、アピールの機会やブース出展などの便宜を得るとともに、JAIFA から SON・福岡のイベントへボランティアを派遣するなど協力関係の足掛かりを得た。

更に、NPO 法人ドットジェイピーより「インターンシッププログラム」として 2 名の学生を 8 月～9 月に受入れ、SON・福岡の活動を学生層に周知する方策に一定の成果を上げた。

⑤ NPO から公益社団法人へ移行

ここ数年来取組んできた公益社団の認定が 8 月に下り、10 月 12 日臨時総会を開き特定非営利活動法人を 10 月 31 日付で解散し、残余財産を公益社団法人 SON・福岡へ寄付することを決議した。